



作品の解説を聞く参加者の親子

7/19 親子で取り組む自由研究

夏休みの自由研究を題材にした親育ち講座が、久々利公民館で開催されました。講師には、城の自由研究コンテストで文部科学大臣賞を受賞した吉田実華さん親子を迎えました。

城の石垣に本物の石を使うなど実華さん自身が工夫した点や、親が最後まで付き合うことがとても大切というお母さんの話に、参加者は感心した様子で聞き入っていました。

7/27 ハスでジュースを飲む

大賀ハスとヒメコウホネの鑑賞会が、東帷子の薬王寺で行われました。

ハスの葉にジュースをため、茎を通して飲む象鼻杯まうびはいの体験もあり、参加した子どもたちは、「長いストローみたいでおもしろい」と何度もおかわりをしていました。

鑑賞会を主催した鳩吹山を緑にする会の高橋会長は、「珍しい体験なので、もっとたくさんのお子どもたちにも参加してほしい」と話しました。



象鼻杯の体験をする子どもたち



市役所正面玄関で演奏を披露する児童

7/31 兼山小金管バンドが演奏披露

兼山小学校のマーチングバンド RANMARU が市役所を訪れ、9月の県大会で演奏する3曲を披露し、来庁者を楽しませました。

35人のメンバーは、息の合った演奏をした後、市長と教育長の激励を受けました。

代表の石井理子さん（6年）は、「夏休みの練習は大変だけど、すごいと言ってもらえる演奏ができるよう頑張りたい」と県大会に向けて抱負を述べました。

8/8 市内施設を巡って学習

「親と子の市政見学バス」が行われ、荒川豊蔵資料館、南消防署などを市内在住の親子が見学しました。

荒川豊蔵資料館では、企画展に合わせたクイズも用意され、解説で出てきたキーワードと展示品から答えを見つけながら、親子で楽しく作品を鑑賞することができました。子どもたちは、新しい発見に「可児市に荒川豊蔵というすごい人がいたことを初めて知った」、「陶芸に興味がわいた」など、それぞれ話していました。



荒川豊蔵資料館でクイズを解く参加者